

御浜町エリア 観光アンケート・地域消費調査

令和3(2021)年10月～令和4(2022)年9月版

2022/11
御浜町エリアマネジメント調整会議

アンケート調査で把握する情報

①観光客向け

- ・ 観光目的
- ・ 御浜町の認知度、リピート
- ・ 道の駅の認知度・満足度
- ・ 御浜町の観光の可能性
- ・ 消費金額

②地元住民（近隣住民）向け

- ・ 消費金額
- ・ Kii Cardの保有について

アンケート調査概要

時期：2021年10月～2022年9月

※2022年7月～9月については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮し、アンケート調査を実施していない。

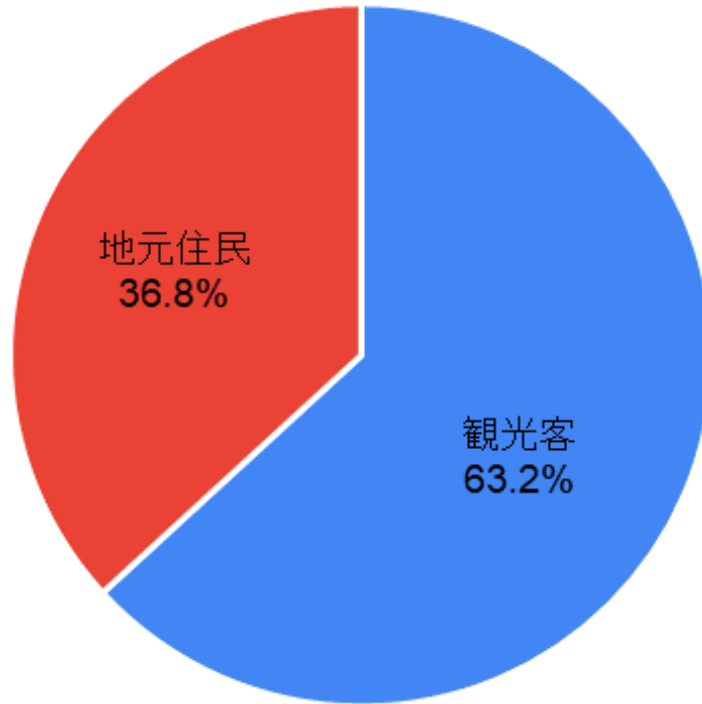
頻度：月1回

実施場所：道の駅パーク七里御浜内

対象者：道の駅訪問者

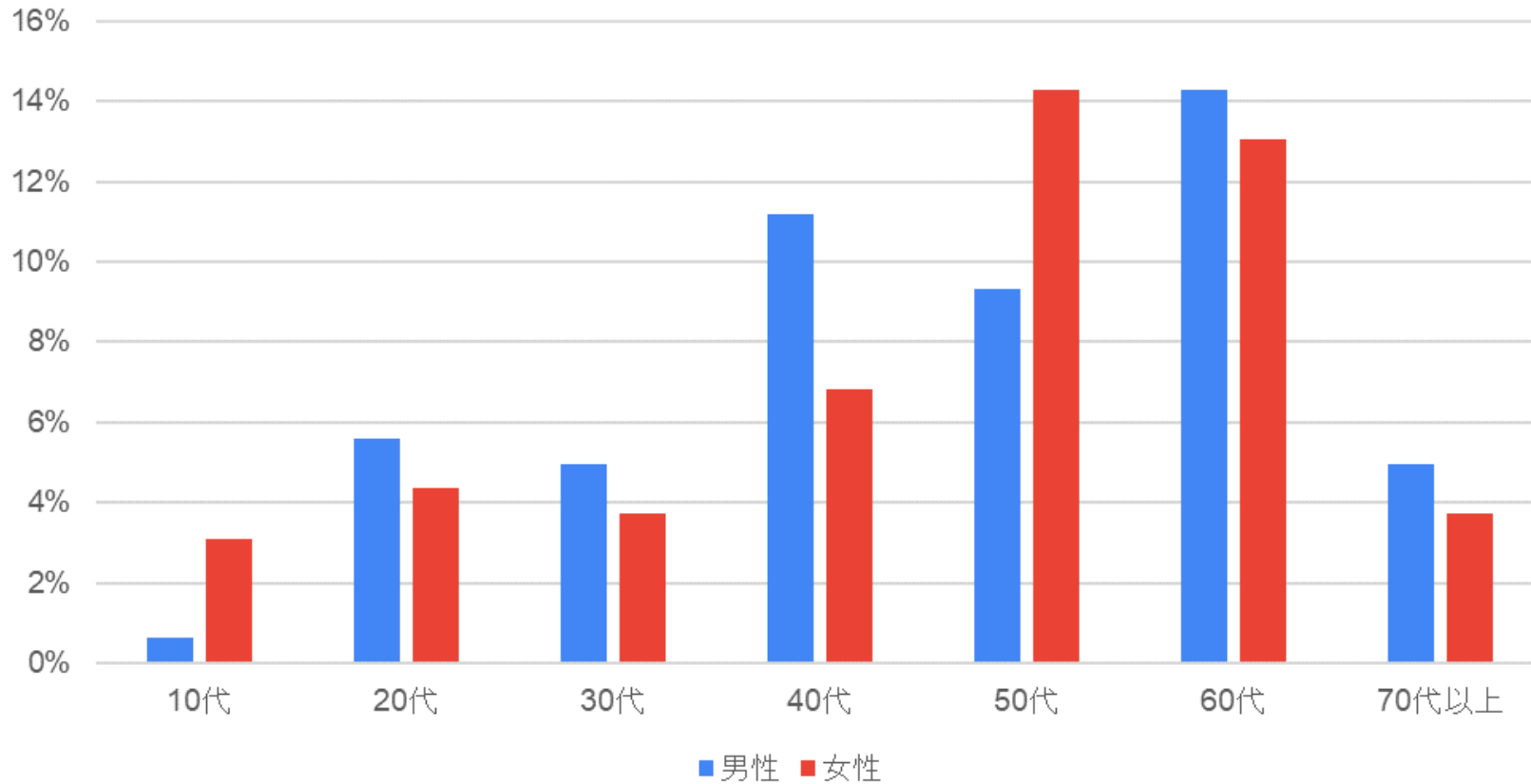
回答数:263人 (観光客:163人 地元住民:95人)

アンケート対象者の半数以上が観光客。



観光客・属性

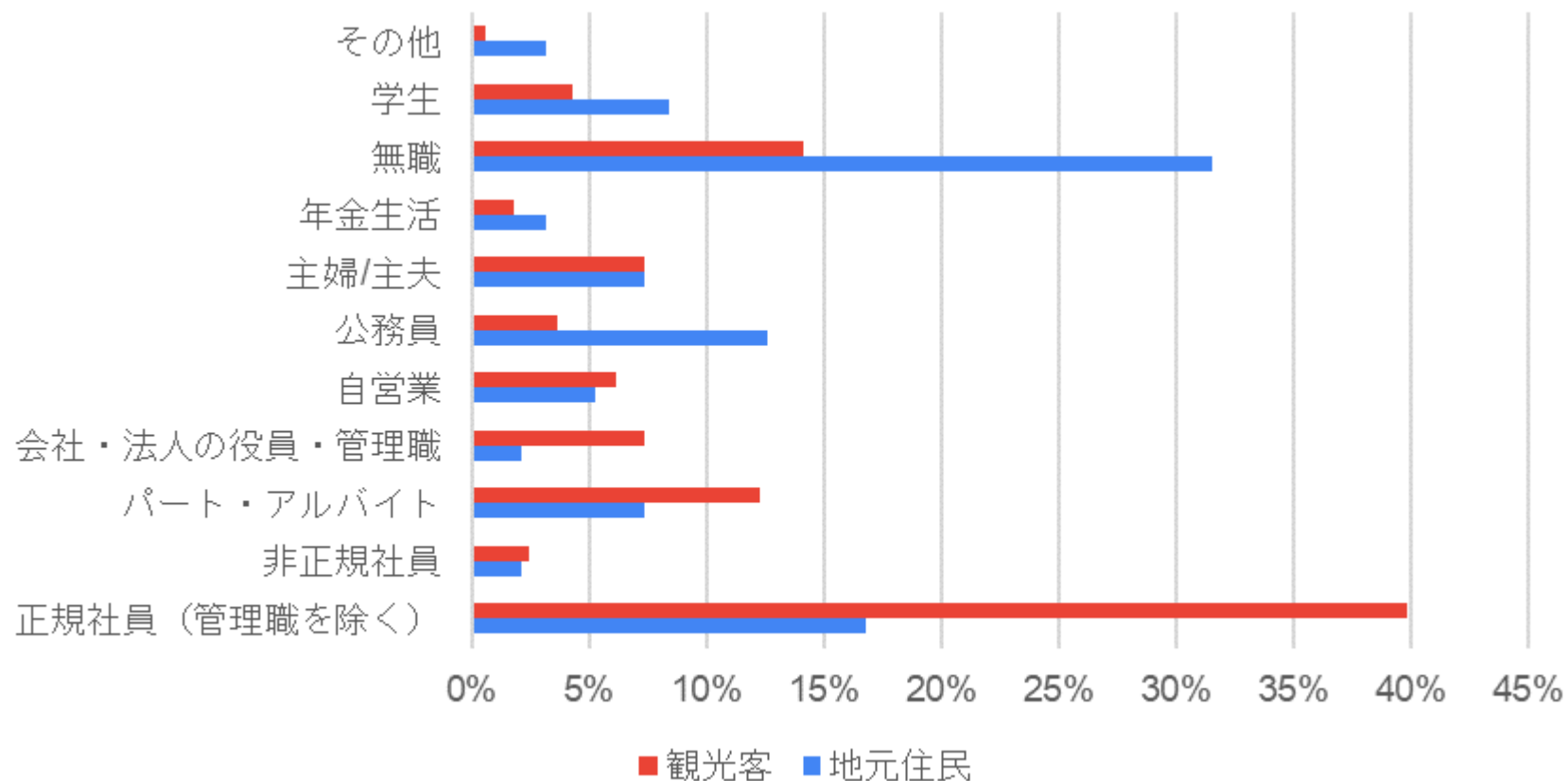
アンケート対象者は男性82人、女性79人、未回答2人の計163人。
年齢層は60代、50代と中高年が最も多い。



(N=161)

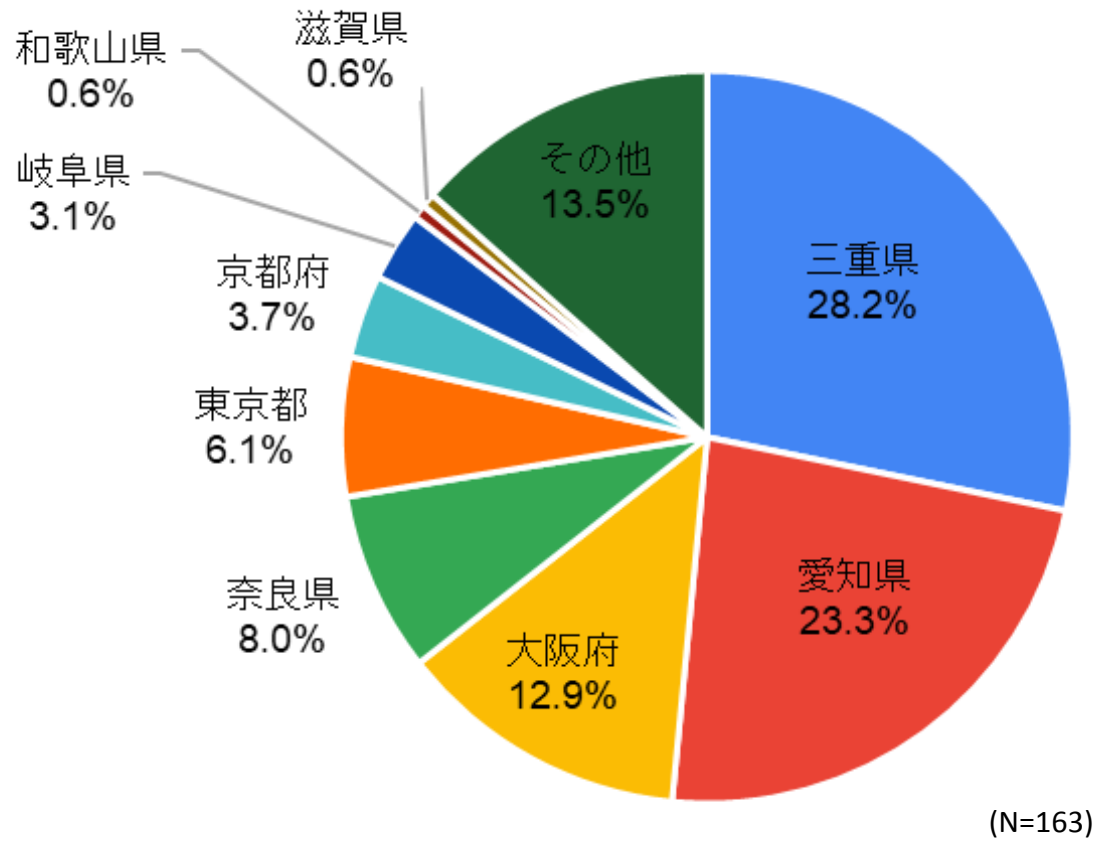
属性情報(観光客・地元住民別の職業)

観光客で最も多いのは正規社員(管理職を除く)。続いて、無職、パート・アルバイト。
地元住民で最も多いのは無職。続いて、正規社員(管理職を除く)、公務員。



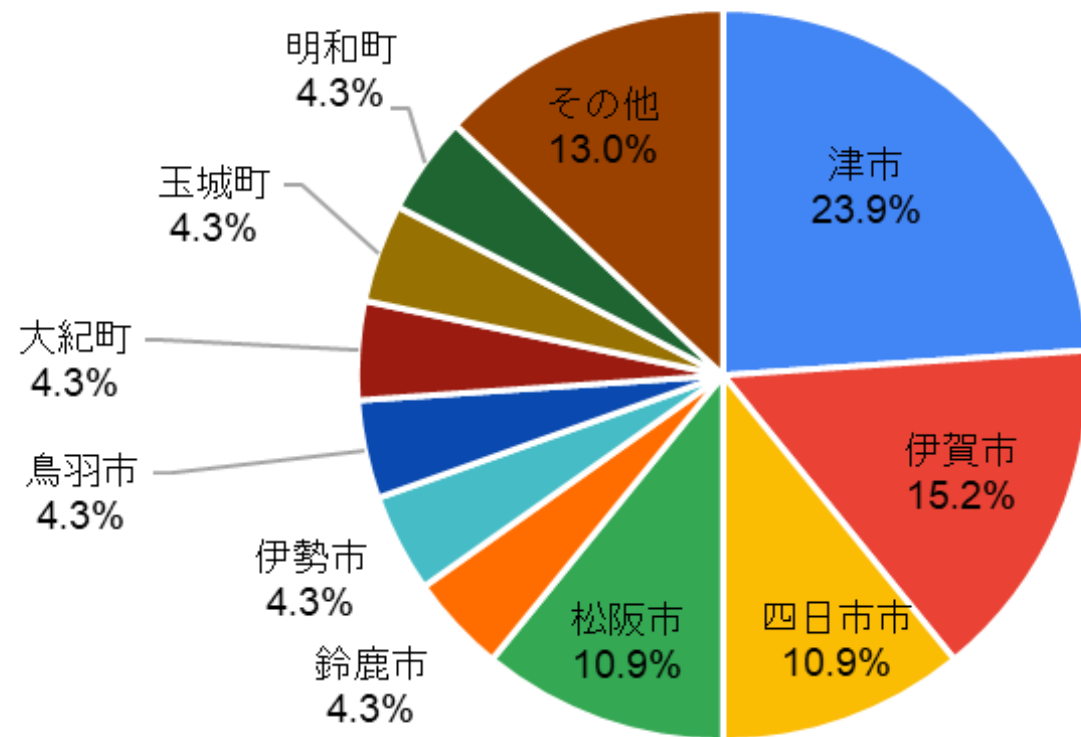
観光客のアンケート結果

観光客の居住地



最も多いのは三重県内で約3割。
次点の愛知県を含めると半数を超える。
関西圏は大阪府、奈良県が続く。

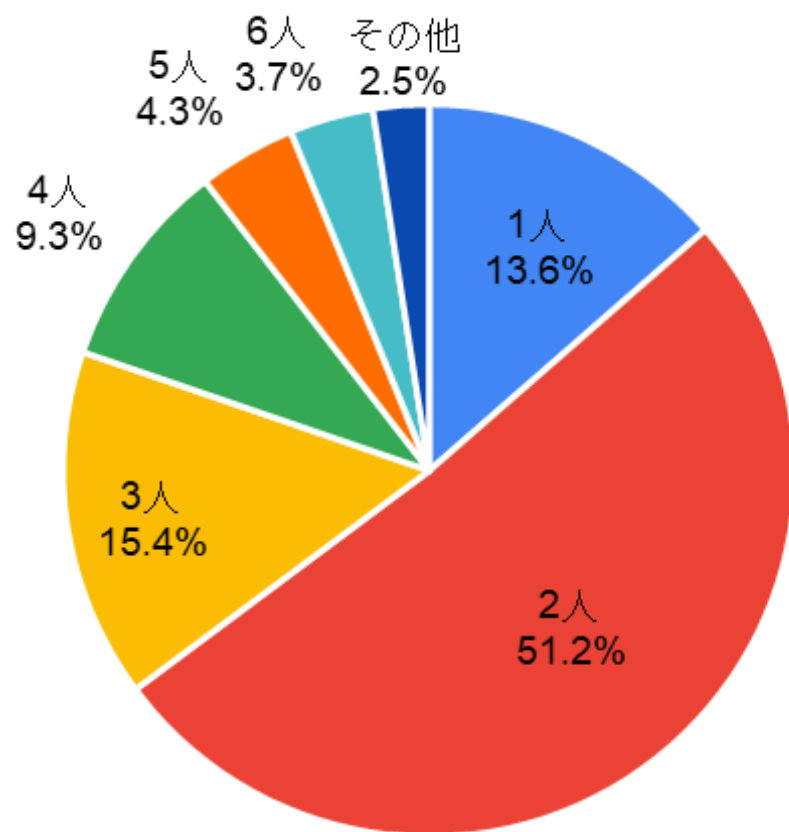
三重県在住観光客の居住地



(N=46)

最多は4分の1を占める津市。
次点で伊賀市、四日市市と続く。

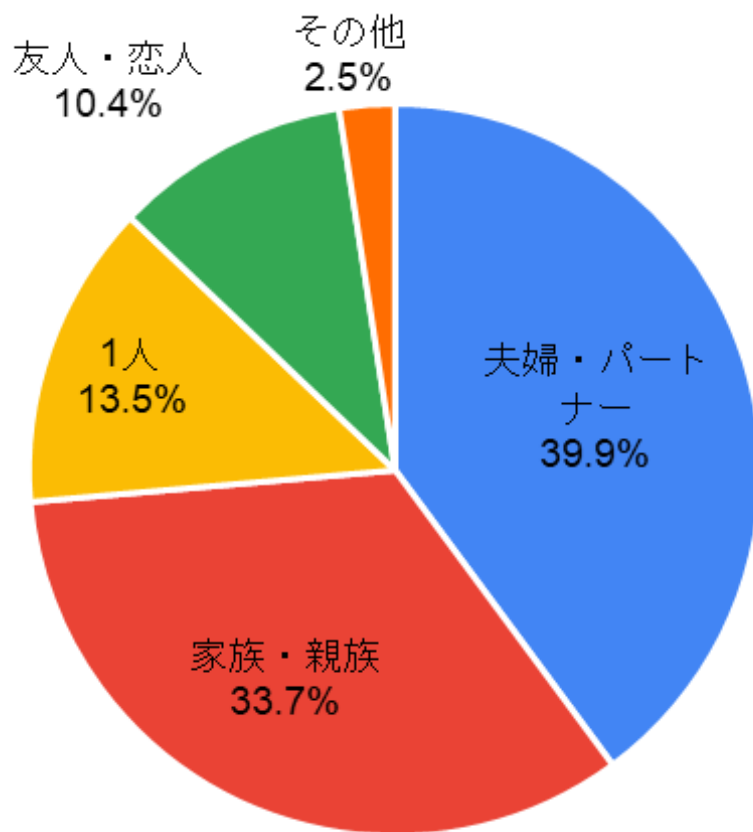
同伴人数



(N=162)

最多は2人で半数以上を占める。
次点で3人、1人と続く。
比較的少人数での来訪とみられる。

同伴構成

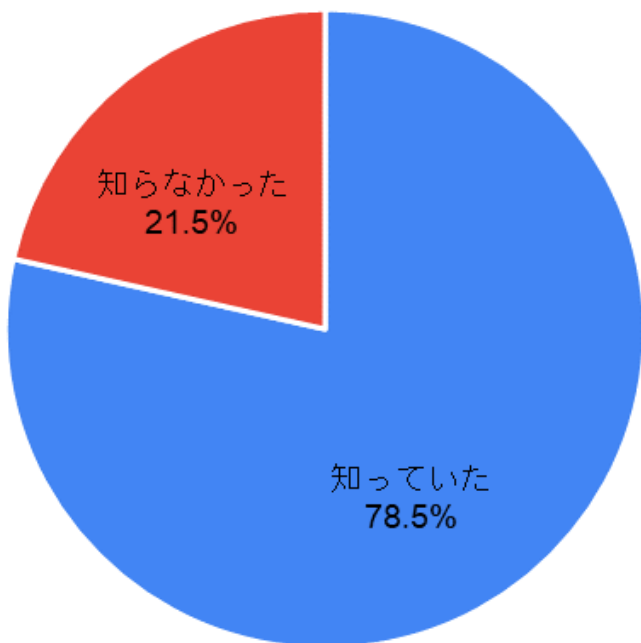


(N=163)

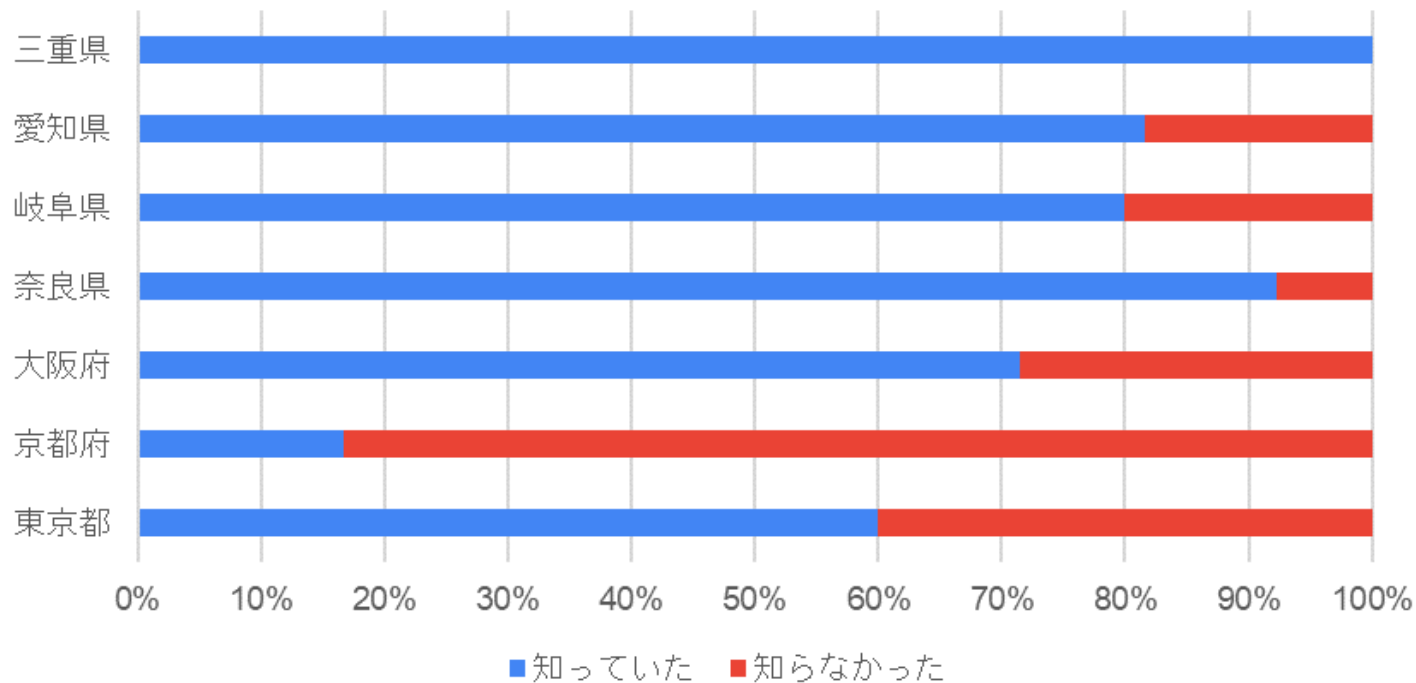
最多は夫婦・パートナーが約4割。
次点で家族・親族、1人と続く。

御浜町の認知度

観光客の多くは御浜町を知っている。特に三重県内での認知度は非常に高い。
隣県の愛知県、岐阜県、奈良県などでも高いが、距離が離れるほど認知度は低くなる傾向。



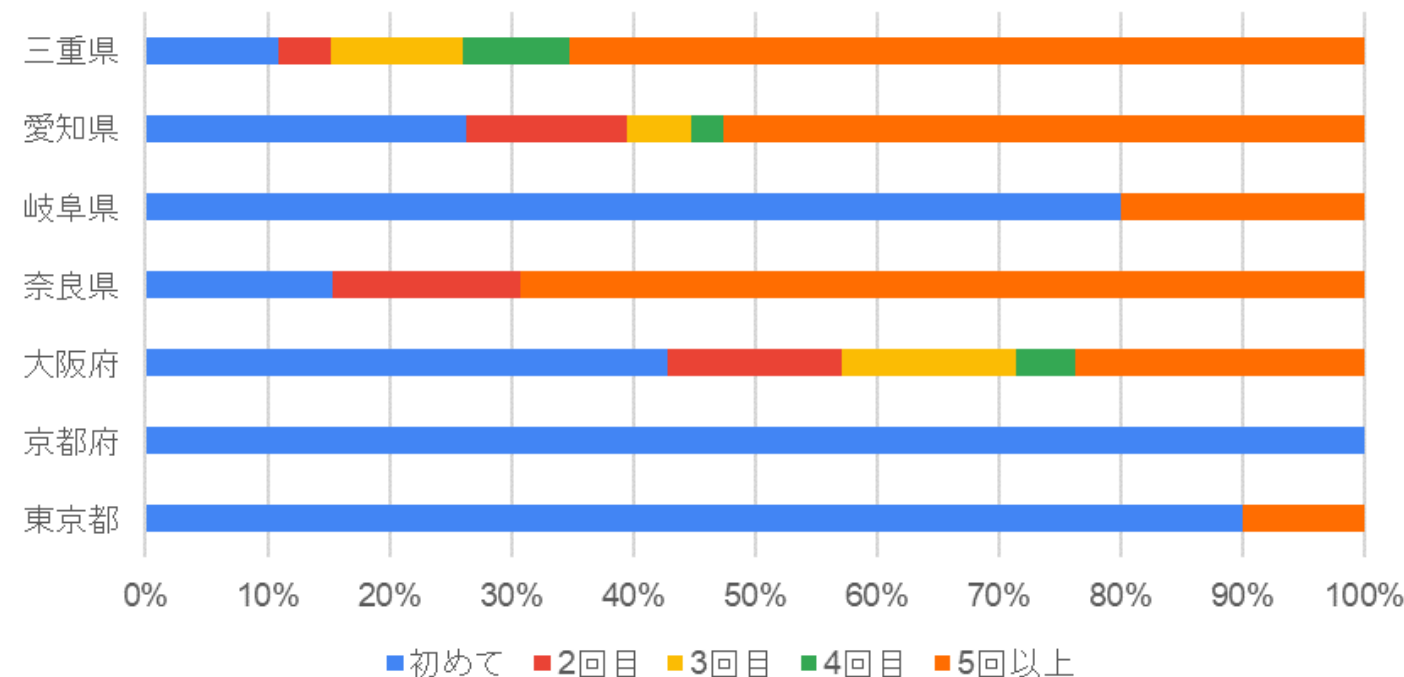
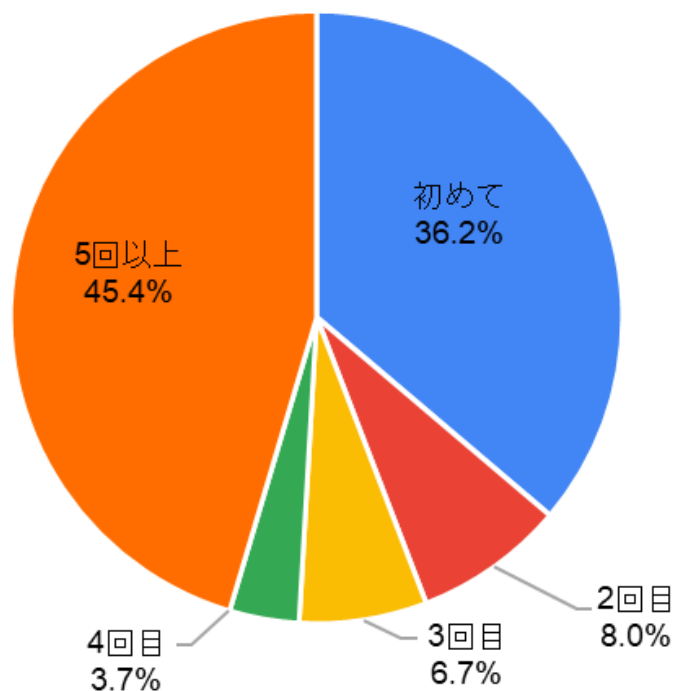
(N=163)



(N=139)

御浜町の訪問回数

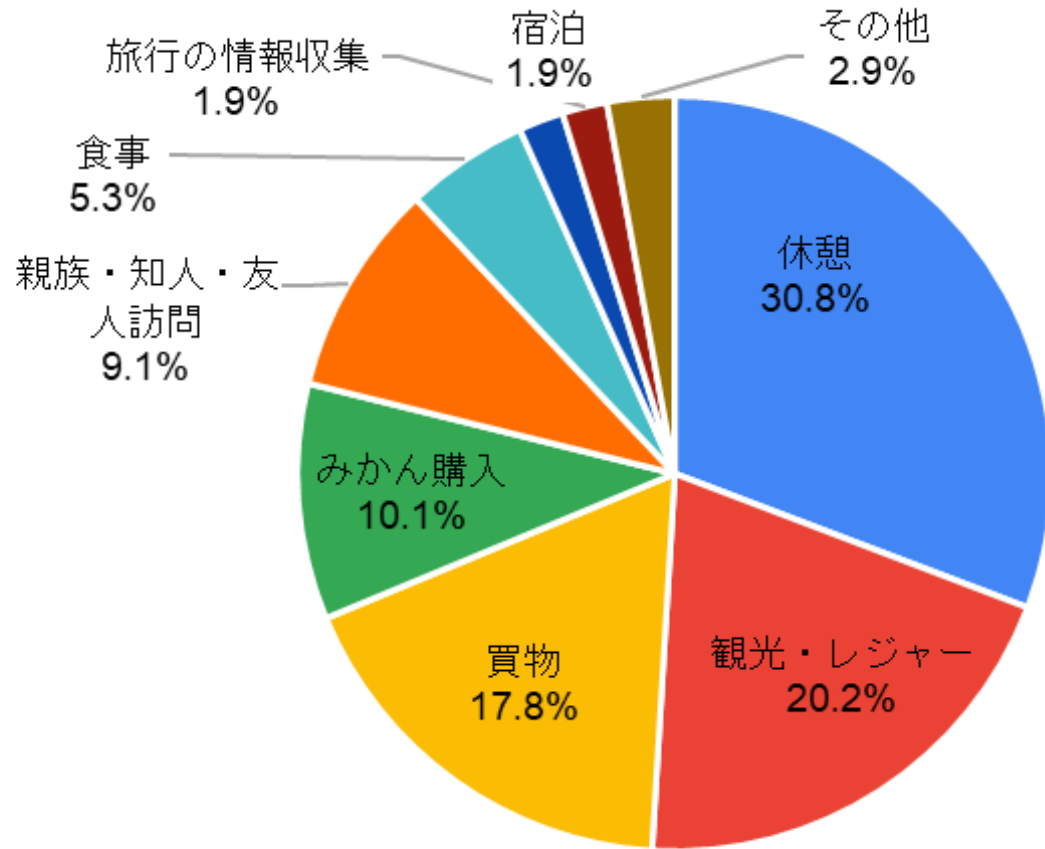
全体としては半数以上がリピーターの訪問となっている。三重県内の観光客は5回以上の訪問が最多。隣の愛知県や奈良県も三重県内と同様にリピーターの訪問が多い。一方で遠方の地域になると、初めて訪問する観光客が増える傾向が見て取れる。



(N=163)

(N=163)

御浜町の訪問理由

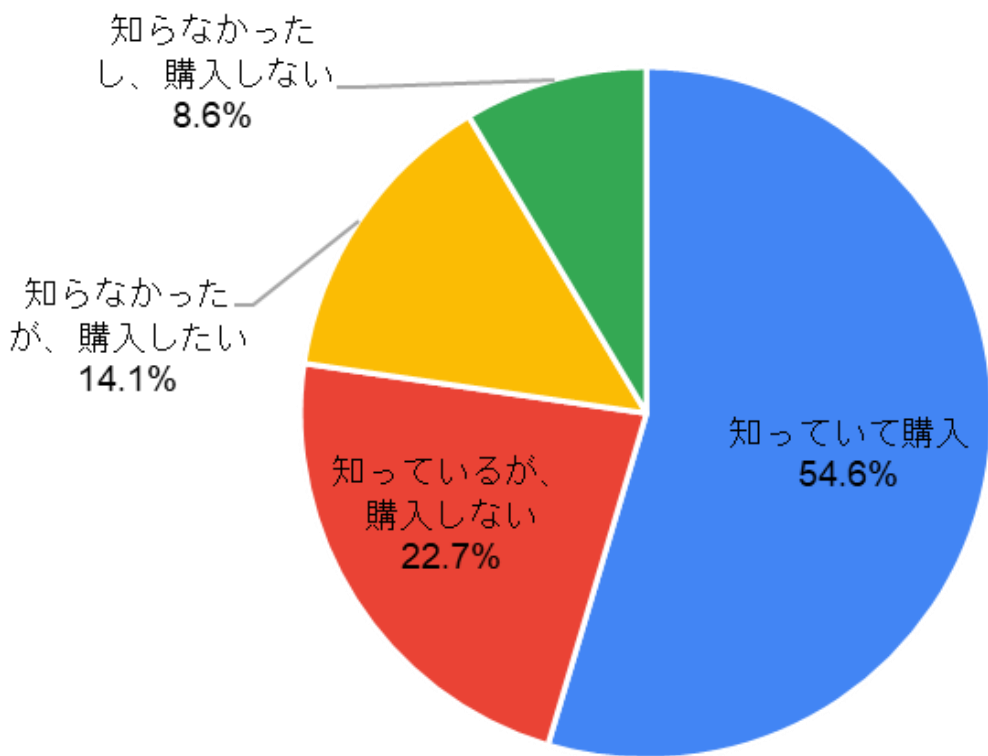


(N=163)

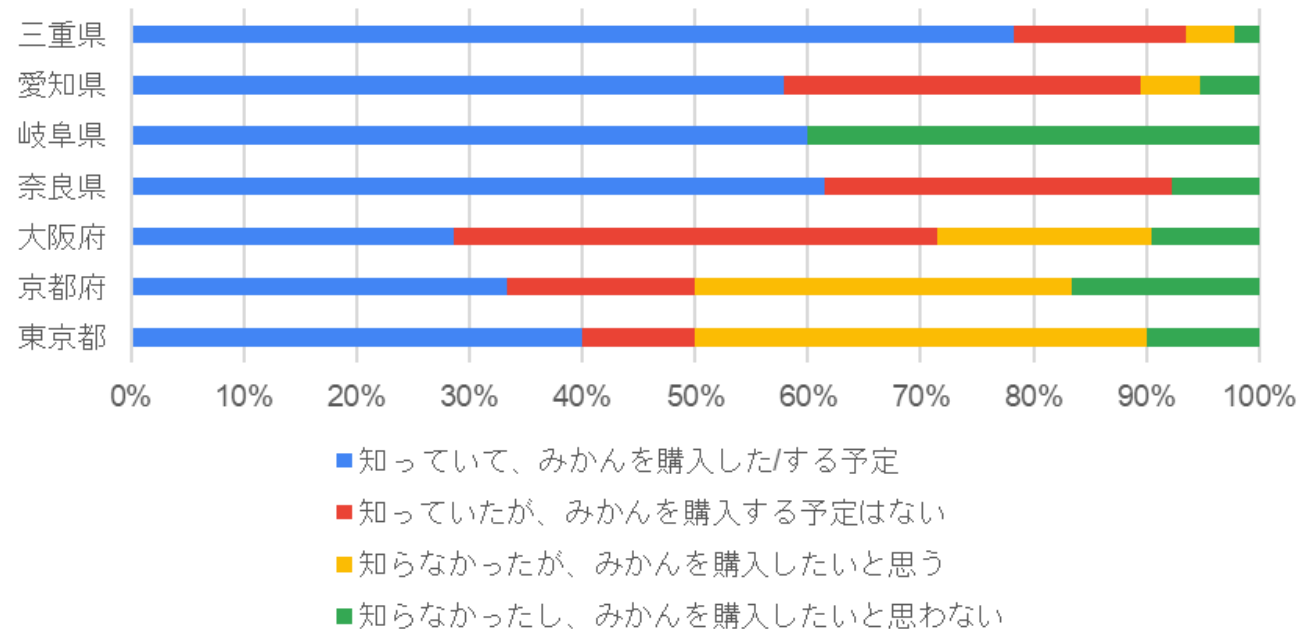
最多は休憩のための立ち寄り。
次点で観光・レジャー、買物、みかん購入と並ぶ。
宿泊についてはほとんどない。

みかんの認知度と購入意向

全体としては「知っていて購入」が最多。「知らなかったが、購入したい」まで含めると7割近くなる。三重県内や愛知県、奈良県では認知度は非常に高いが、購入につながっていない層が3割近い。一方で遠方の地域になると、認知度は低いですが、訪問をきっかけとして購入への意欲が増える傾向。



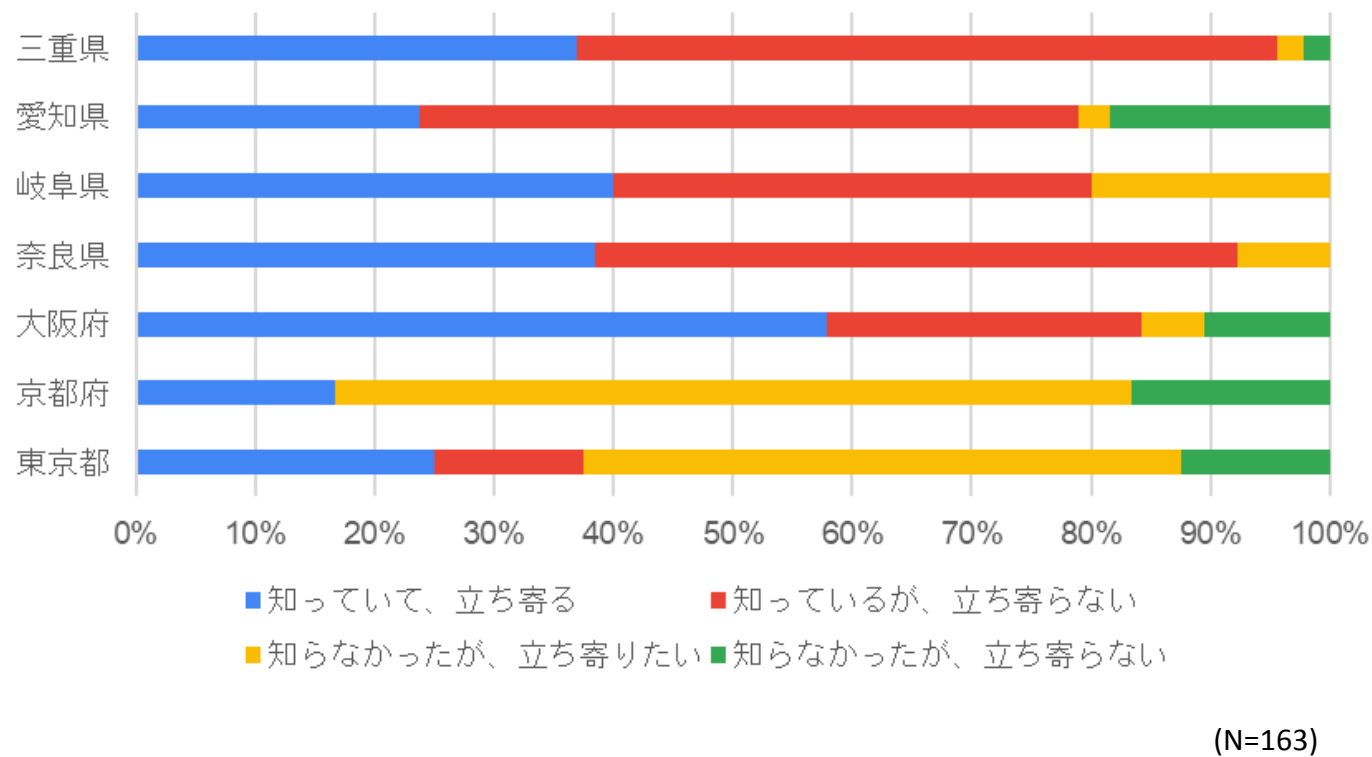
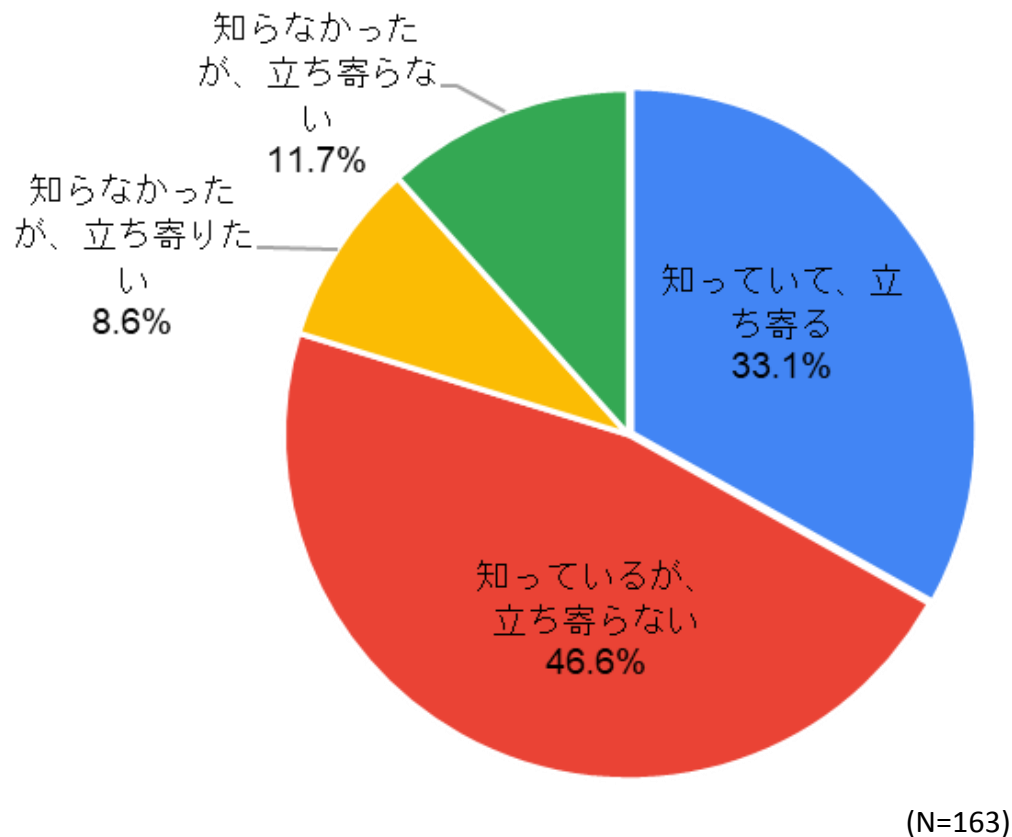
(N=163)



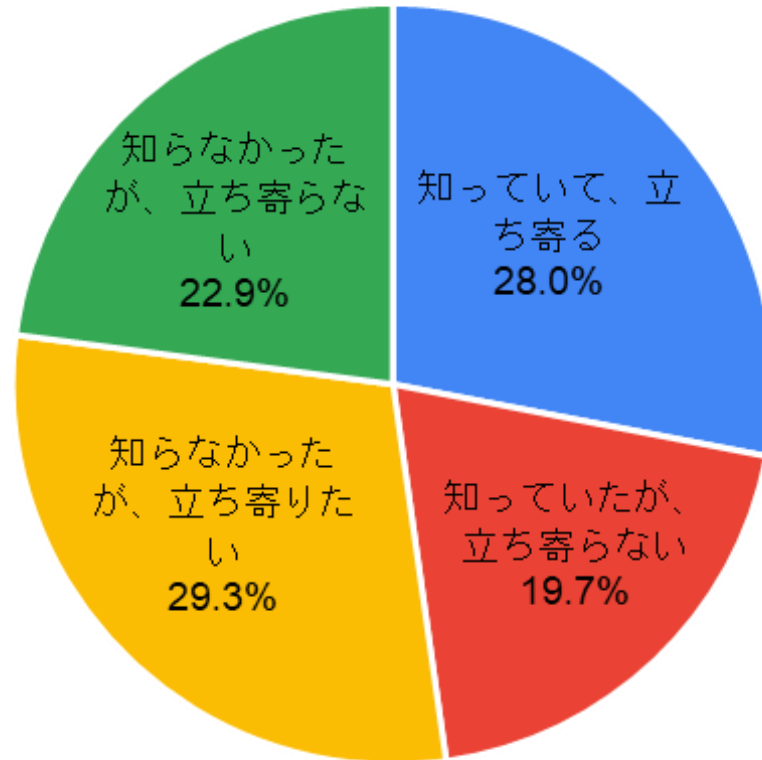
(N=163)

御浜町の「七里御浜」の認知と意向

全体としては「知っている」人は7割以上だが、三重県内や愛知県など御浜町へのリピーターが多い県は立ち寄りが少ない。逆に遠方の地域になると、認知度は低いが、訪問をきっかけとしての立ち寄りが増えている。



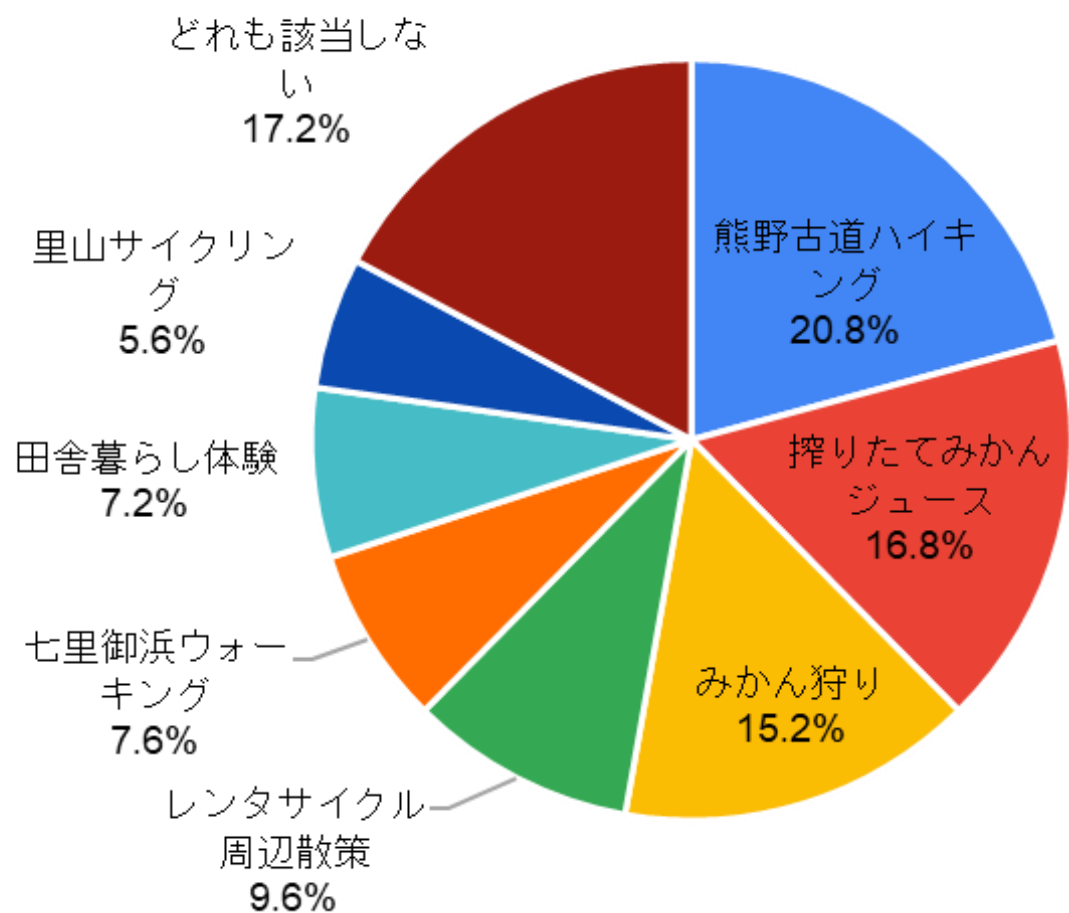
観光案内所の認知度



半数近くは観光案内所の存在を知っている。
立ち寄る、立ち寄りたいたいも半数近くいることから、
観光情報入手したいニーズは一定数ある。

(N=157)

御浜町で興味あるアクティビティ

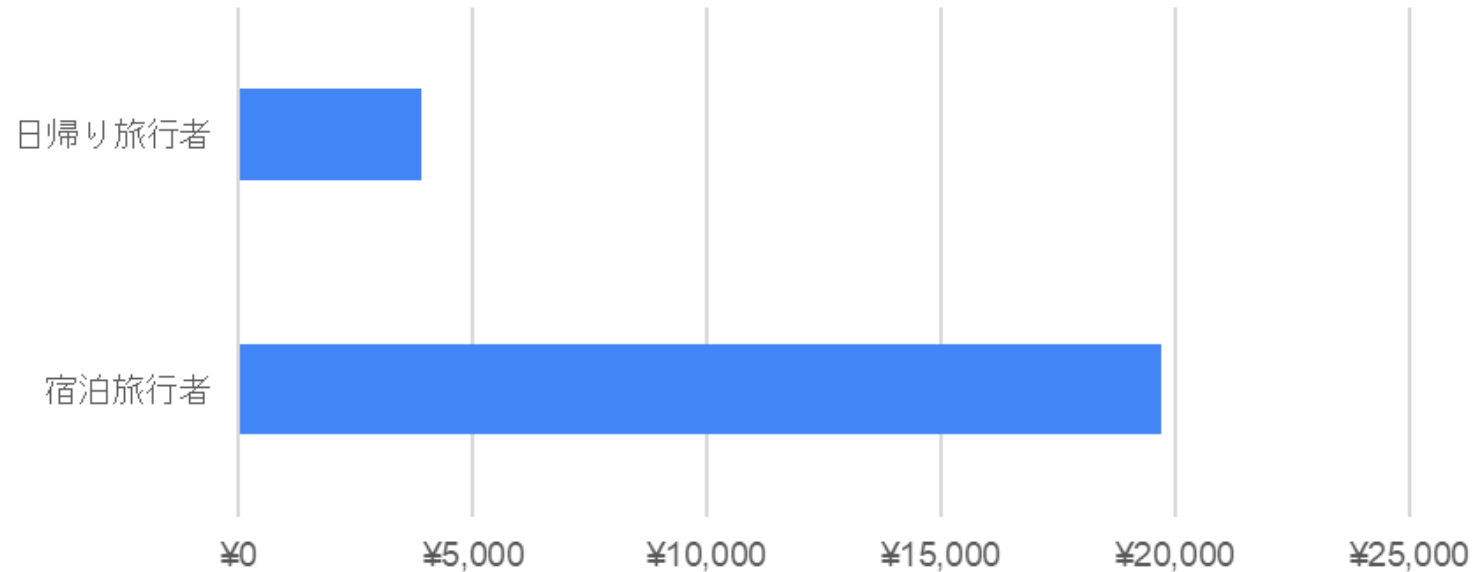


トップは熊野古道ハイキング。みかん関連のアクティビティが上位にきている。

(N=163)

観光消費額

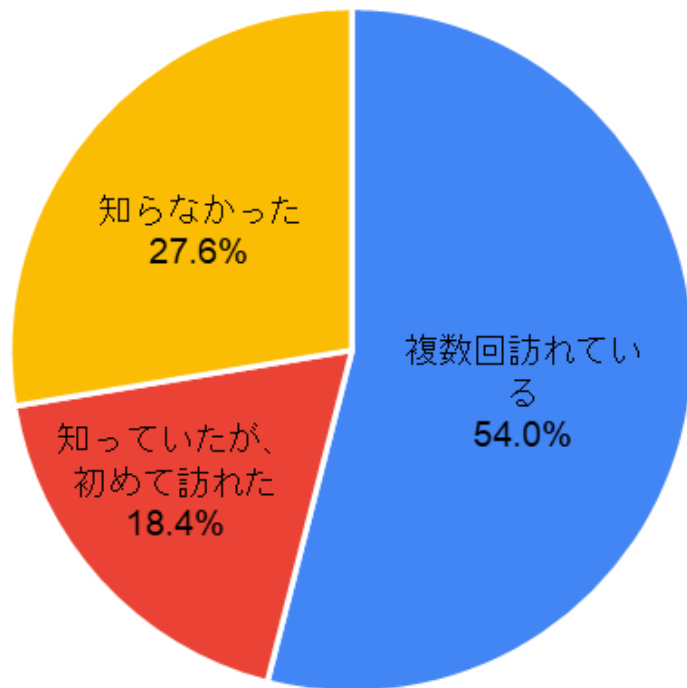
日帰り旅行者は3,899円、一方の宿泊旅行者は19,692円と5倍以上の開きがある。
宿泊を伴う観光は必然的に消費額は高くなる。



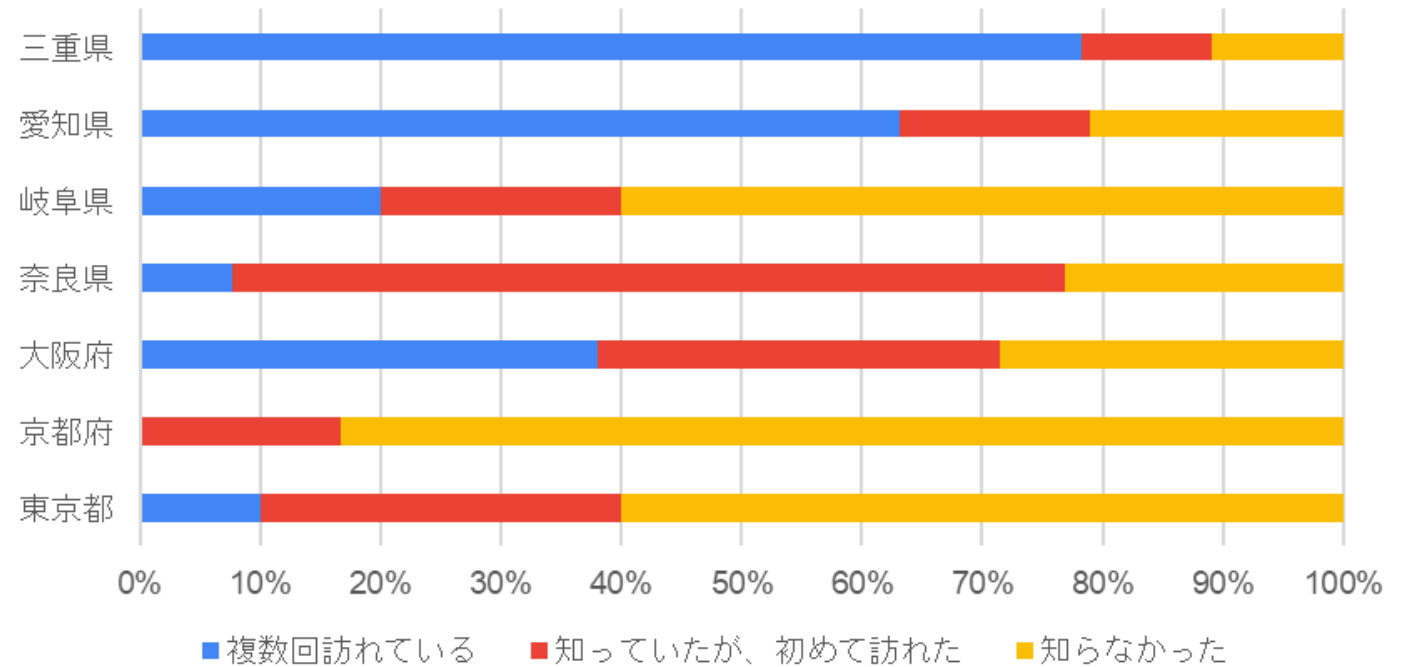
(N=160)

「道の駅 パーク七里御浜」の認知度と訪問回数

利用者の半数以上はリピーターである。三重県内や愛知県など御浜町へのリピーターが多い県は道の駅へのリピート訪問も多い。逆に遠方の地域になると、知っていても初めて訪問する人、そもそも知らずに訪問する人が多数存在する。

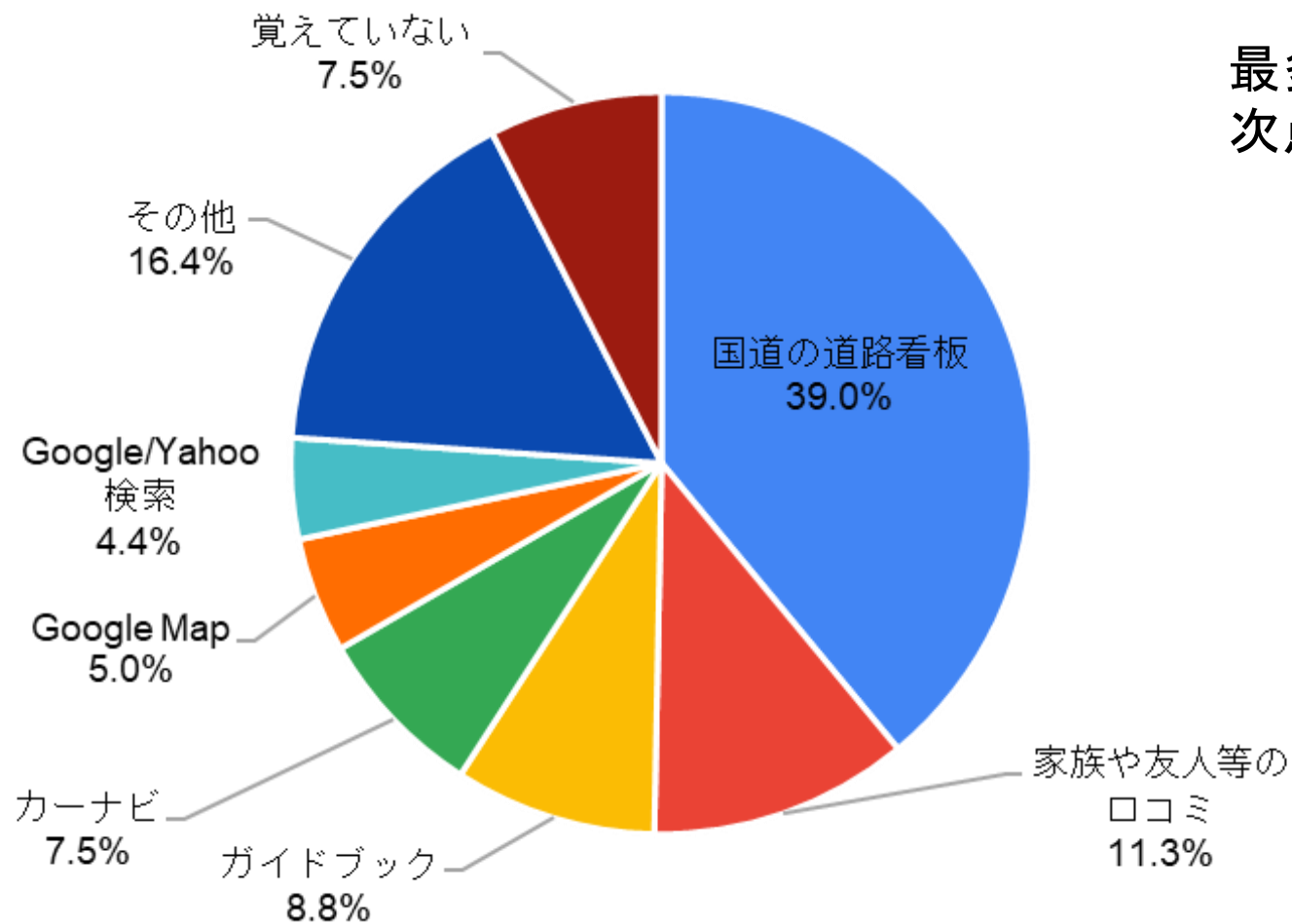


(N=163)



(N=163)

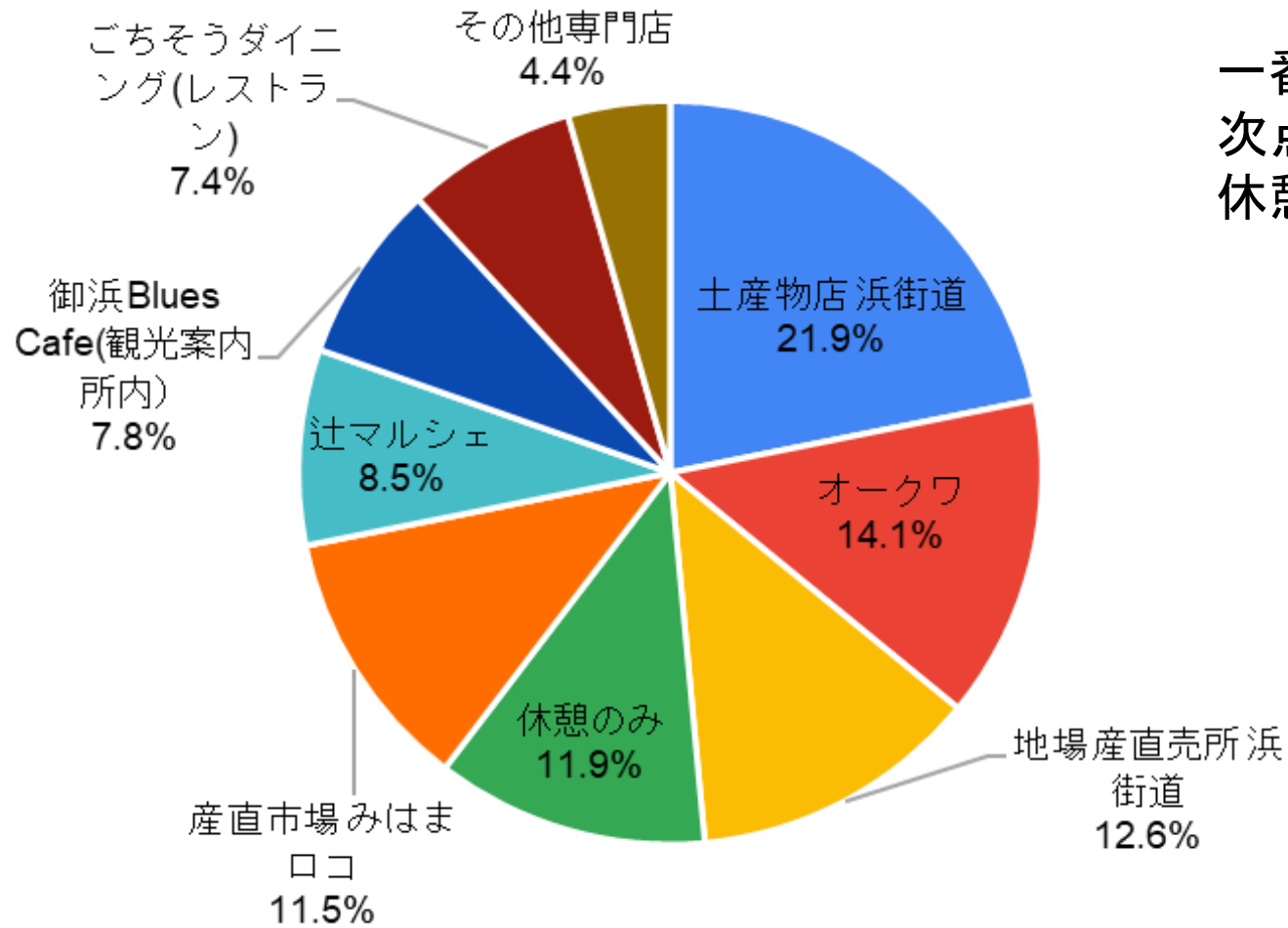
「道の駅 パーク七里御浜」の認知場所



最多は国道の道路看板。
次点で口コミ、ガイドブックと続く。

(N=159)

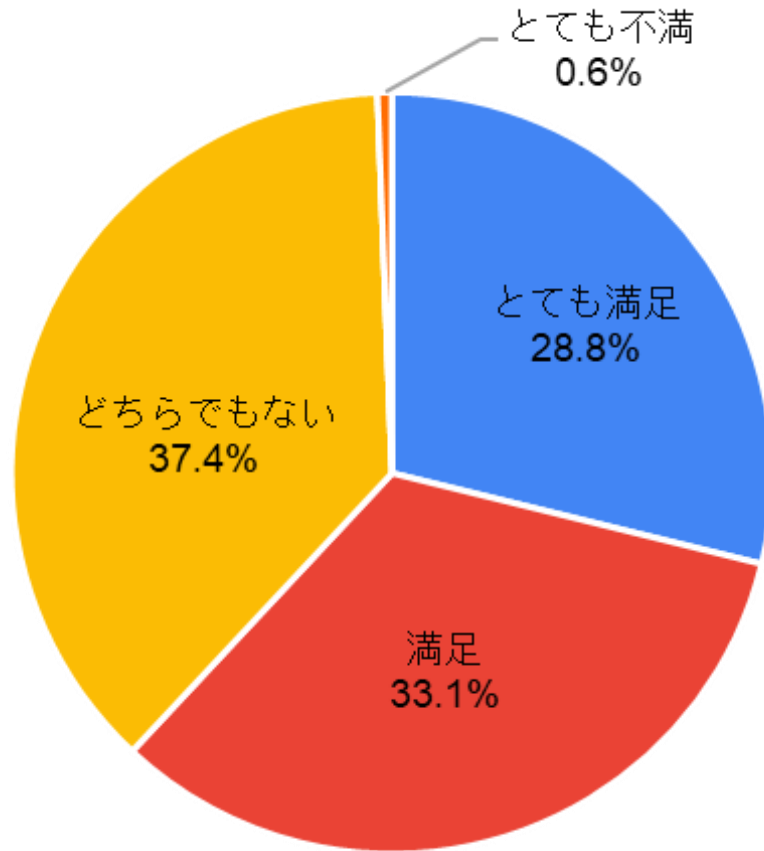
「道の駅 パーク七里御浜」内で立ち寄り先(複数回答)



一番多いのは「土産物店 浜街道」。
次点で「オークワ」、「地場産直売所 浜街道」と並ぶ。
休憩だけでも1割存在する。

(N=159)

「道の駅 パーク七里御浜」の満足度



(N=163)

半数以上は満足している。一方で、満足でも不満でもない層が存在し、飲食店の少なさを指摘する声が複数挙がる。

～主な声～

- ・景色が良い
- ・トイレがきれい
- ・お土産が買える
- ・地場の野菜や特産品が手に入る
- ・みかんの商品がたくさんある
- ・車を止めやすい
- ・軽く食べられる場所が欲しい
- ・地場の特産品や飲食店があると良い
- ・建物がやや古い

まとめ

少人数の中高年層の来訪が多い／三重県内、愛知県からの訪問が多い／御浜町の認知度は高く、リピーターも多い／

→県内・愛知県の中高年層リピーターの再訪理由を把握した上で、ニーズに合わせて訪問理由となるものを提供し、リピーターを維持

みかんの認知度は高く、購入も多い／

→みかんの高い認知度から購入にまで繋がっていることから、“みかん推し”を継続

道の駅への来訪者は、七里御浜を知っていても立寄っていない／

→七里御浜は多くの観光客にとっては、わざわざ見るべき風景ではない。活用するためには、七里御浜で記憶に残る”コト”が必要

観光案内所で情報入手したいニーズが一定ある／

→七里御浜TICは、さらに認知度を高めつつ、ニーズに対応した満足度の高い観光案内所となっていくことが必要

観光消費額は宿泊旅行者が必然的に高くなる／

→宿泊旅行者を意識した商品づくりが必要

→紀勢自動車道全通を見据えたビジョンとロードマップを明確に持つことが必要

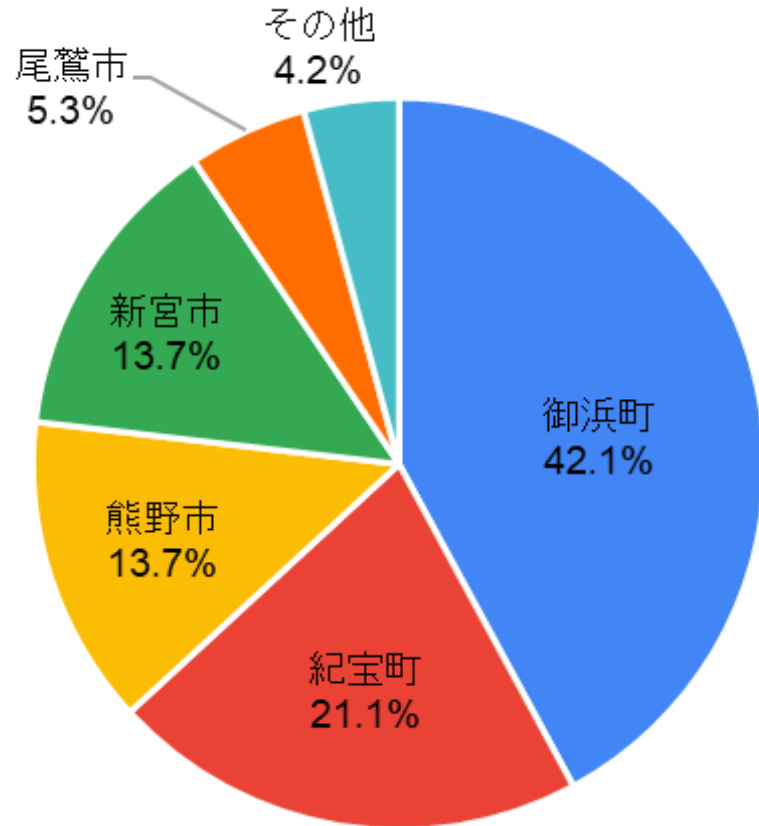
道の駅の認知度は高く、リピーターが多い／道の駅で土産物屋地場産品を購入／道の駅の飲食店の少なさを指摘する声

→道の駅はリピーターに支えられているが、新しい顧客の獲得策を講じることが急務

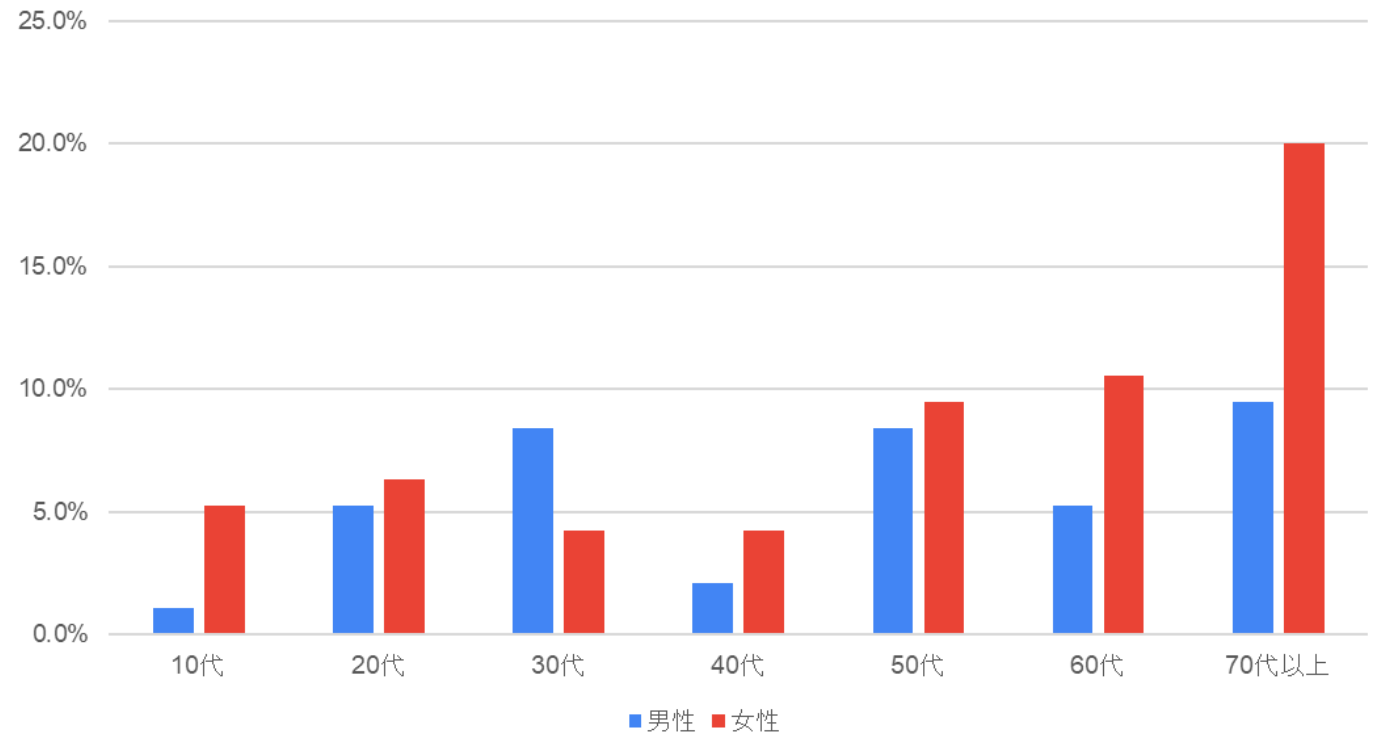
地元住民のアンケート結果

属性情報(居住地・性別・年代)

地元を除くと紀宝町、新宮市と比較的南側からの訪問が多い。
また、年齢層は50代以降が多い。

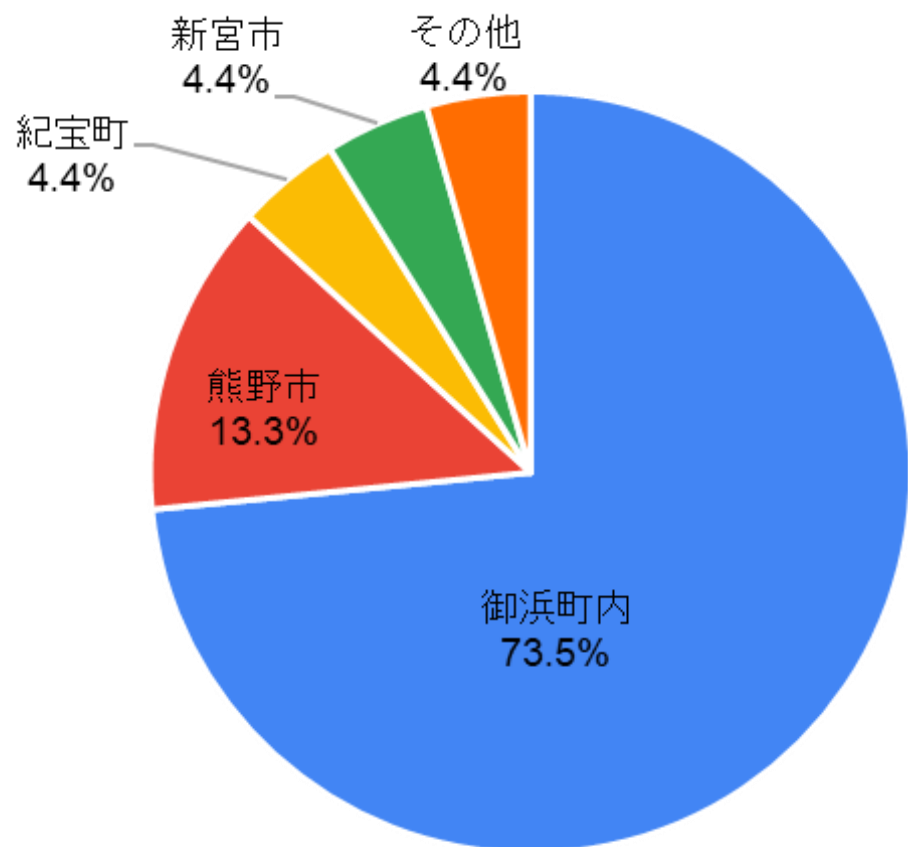


(N=95)



(N=95)

主な訪問先

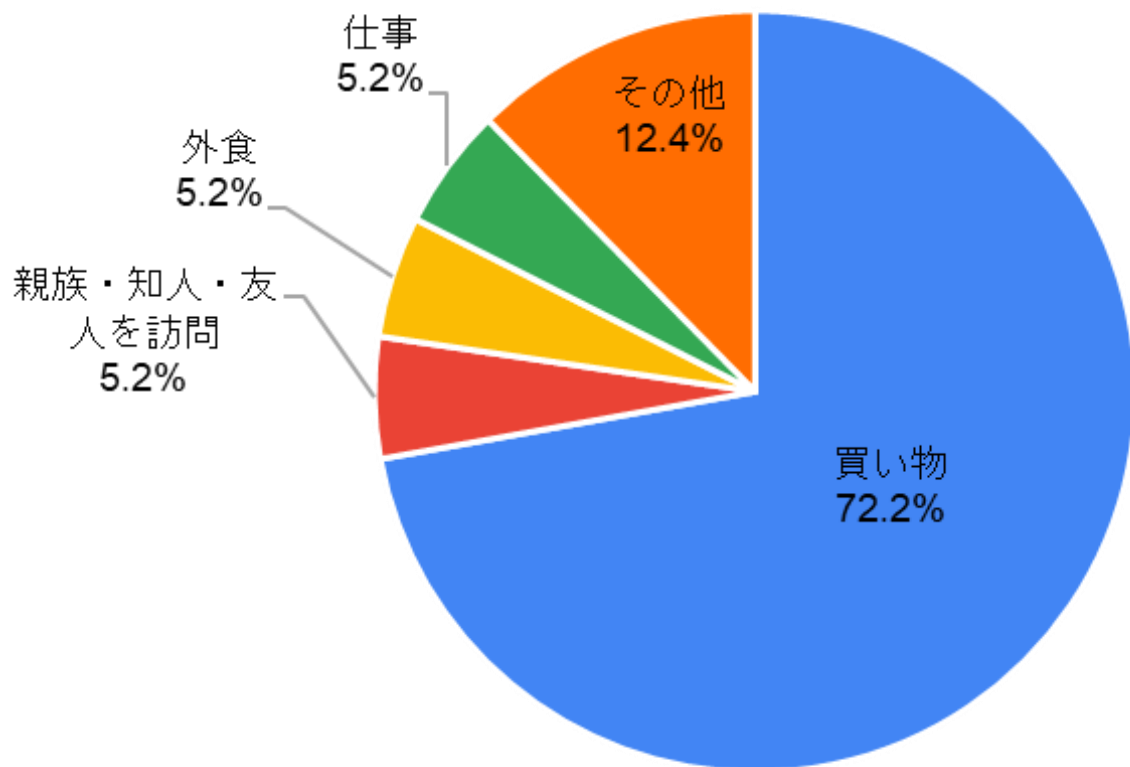


(N=95)

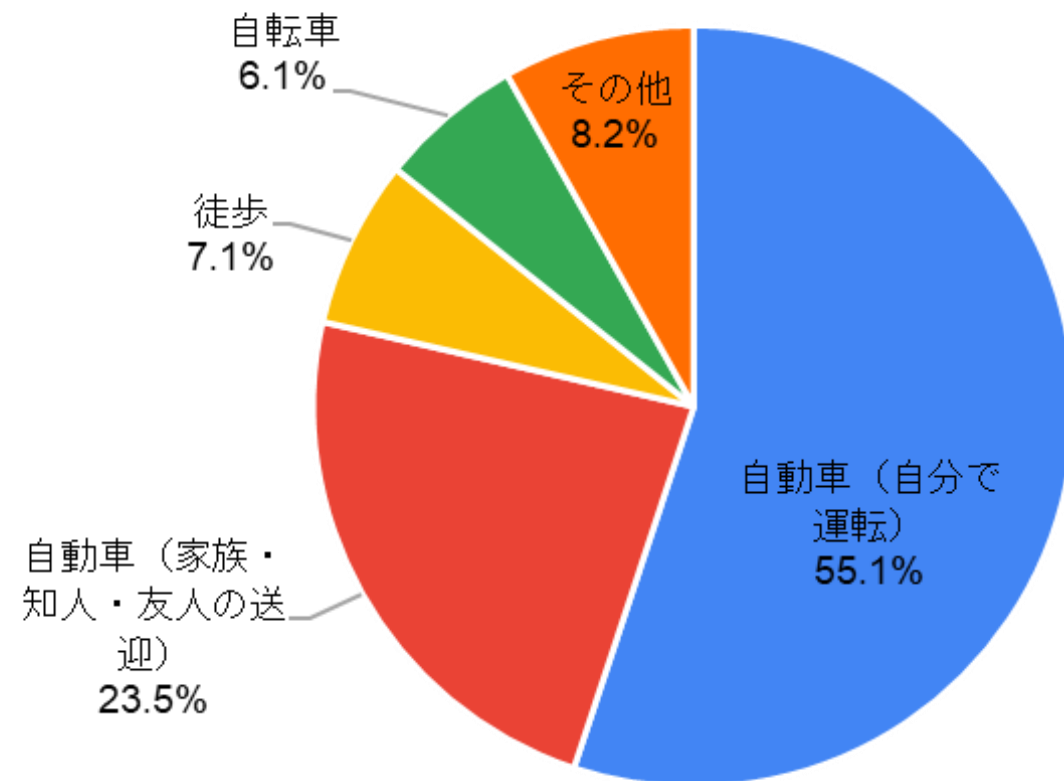
地元住民の「道の駅」利用も含まれているため、御浜町内の訪問が高い傾向にあるが、一方で熊野市への訪問の前後に立ち寄っていることから御浜町もしくは御浜町以南の紀宝町や新宮市在住者が立ち寄りやすい立地もあると考えられる。

外出の目的と交通手段

多くの方が買物での外出であった一方、自動車での来訪が半数以上を占めている。



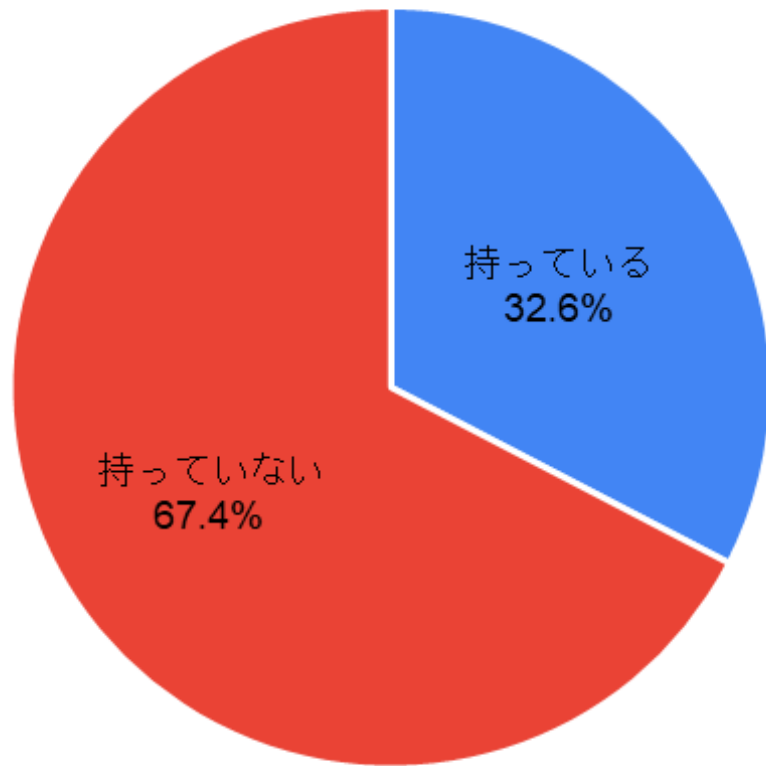
(N=95)



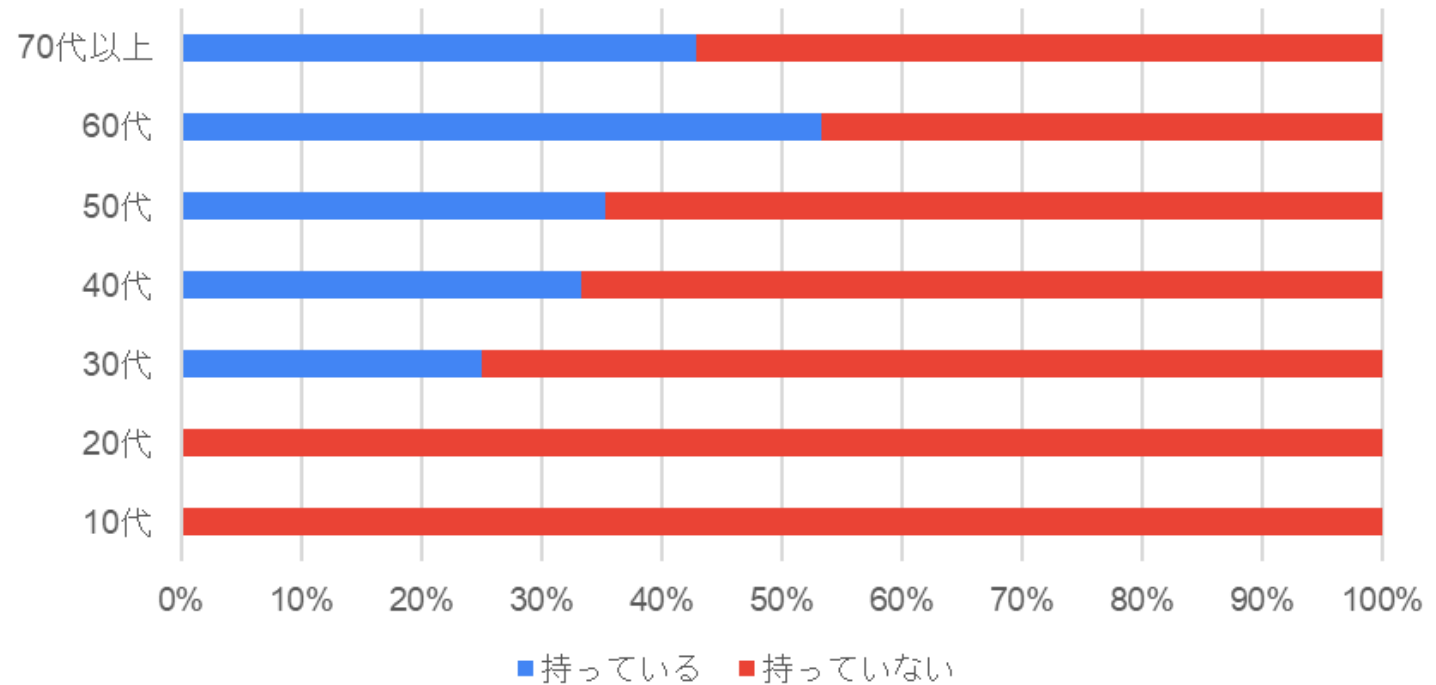
(N=95)

Kiiカードの保有有無

地元住民の約3割がカードを保有。中高年層の保有が目立つ。
なお、御浜町内在住者で保有していたのは22人、保有していないのは18人。

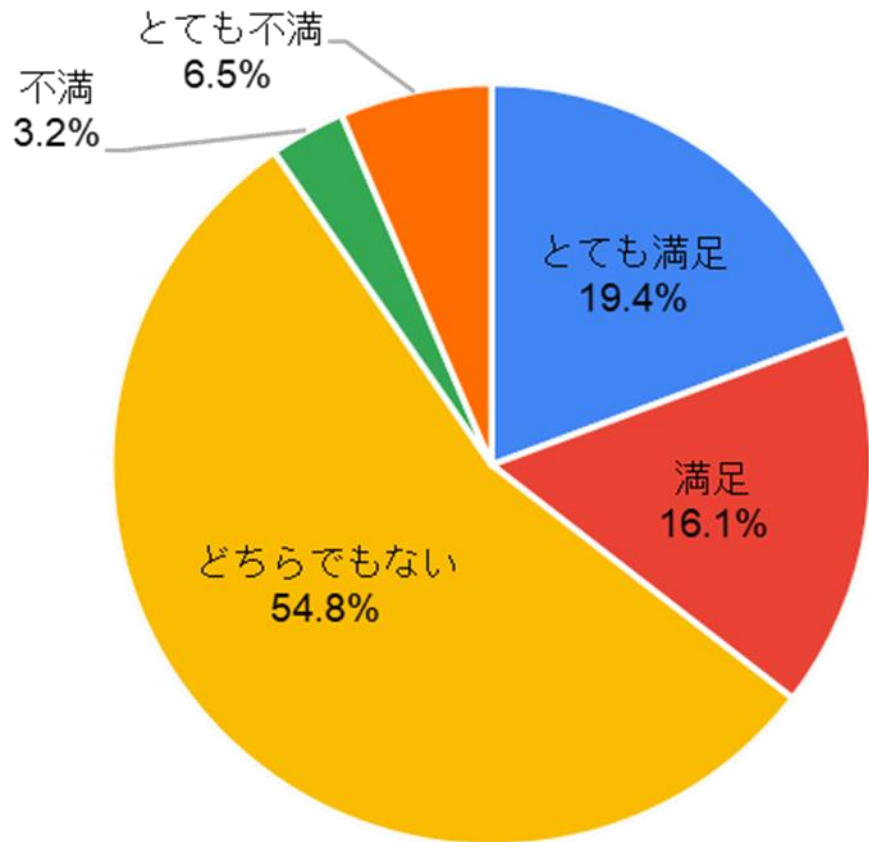


(N=95)



(N=95)

Kiiカードの満足度



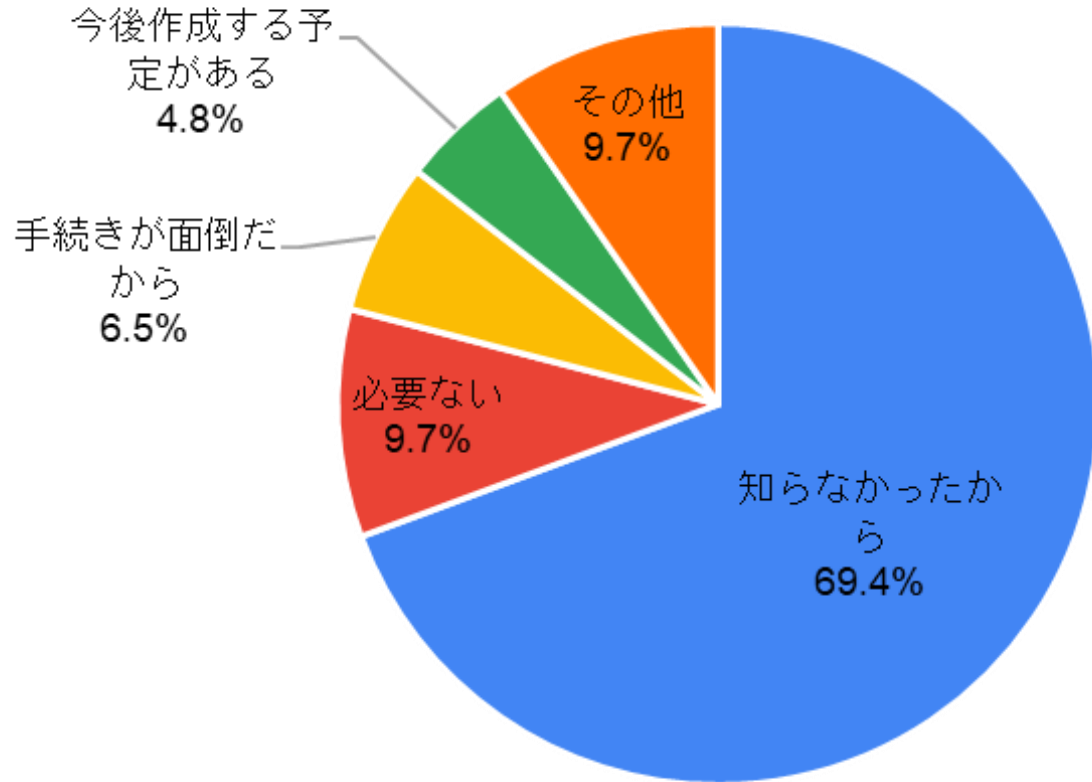
(N=31)

3割近くは満足している一方で、どちらでもない、不満の層が多く存在。加盟店の少なさや貯めたポイントの確認のしづらさが挙がる。

～主な声～

- ・カードが使える店舗を増やして欲しい
(ドラッグストア、スーパーマーケット、ガソリンスタンド、コンビニなど)
- ・貯まったポイントの確認のしやすさ
- ・10倍ポイントキャンペーンを再度実施して欲しい

Kiiカードを持っていない理由



(N=62)

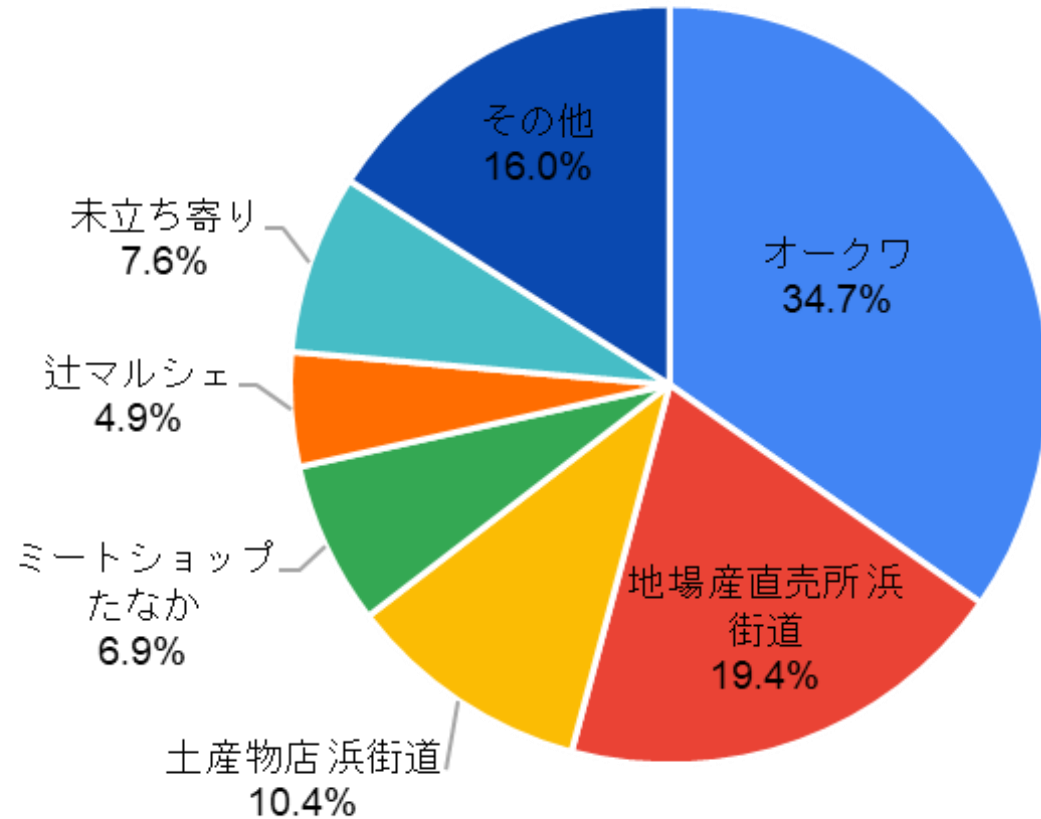
御浜町外の在住者も多く含まれているが、知らない人は半数以上占める。御浜町在住者においても、カードの存在を知らない人がいる。

～御浜町在住で持っていない人の理由～

- ・Kiiカードについて知らなかったから 10人
- ・必要ない 2人
- ・子どもだから 2人
- ・家族が持っているから 1人
- ・利用するお店が対応していないから 1人
- ・Kiiカードの利用方法が分からないから 1人
- ・Kiiカードをつくる手続きが面倒だから 1人

「道の駅 パーク七里御浜(ピネ)」内での立ち寄り場所

最も多いのがスーパーマーケットのオークワ。
続いて、地場産直売所、土産物店と続く。

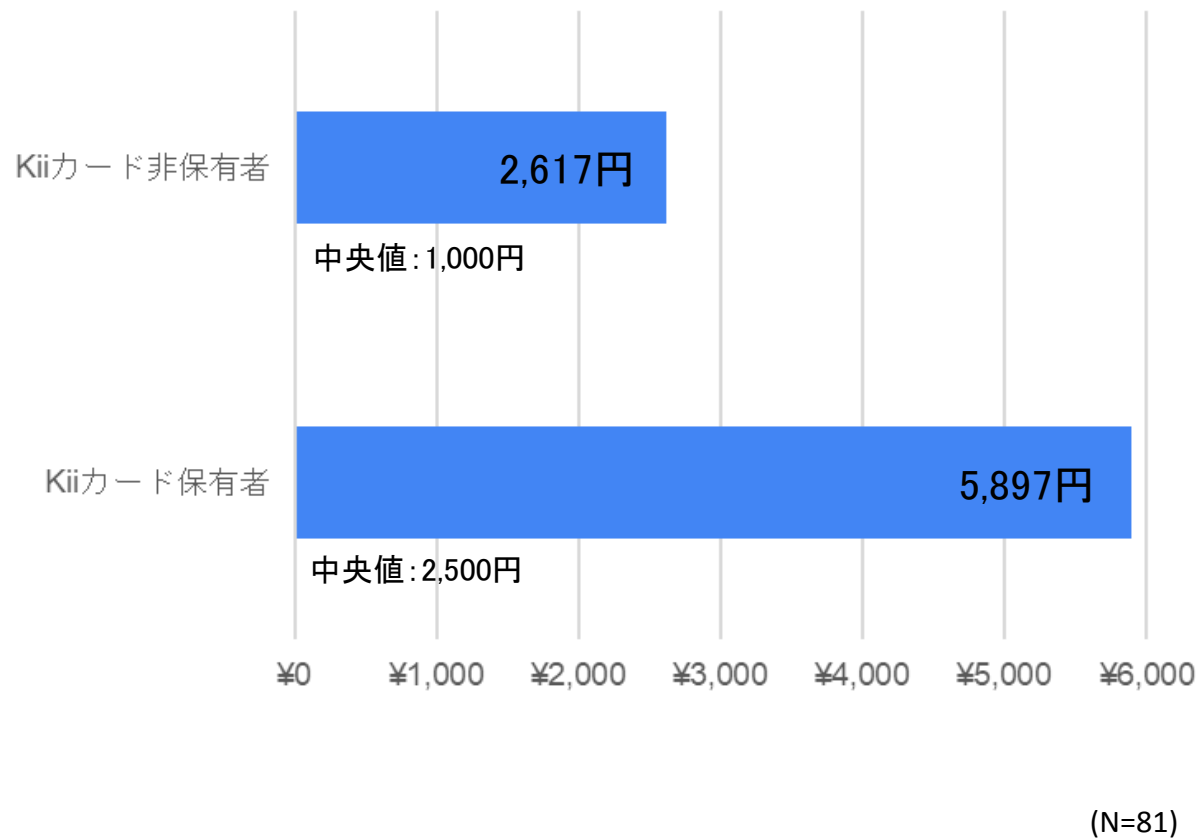
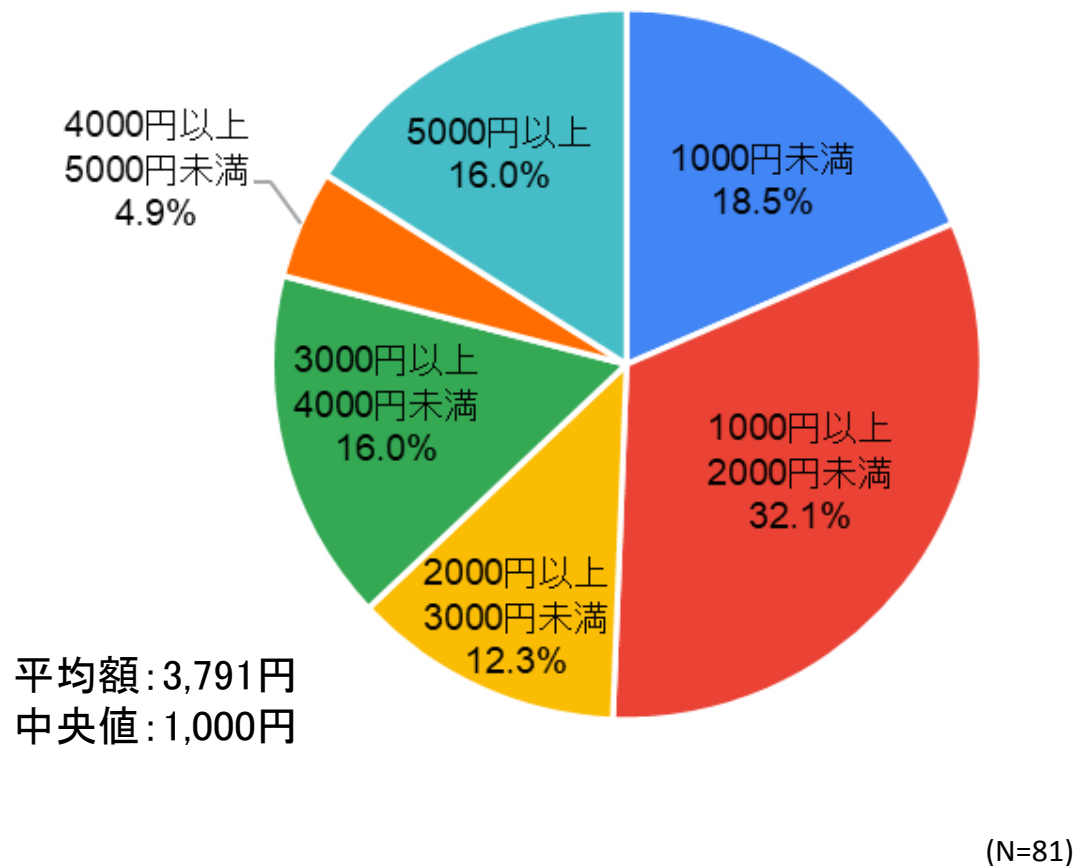


(N=84)

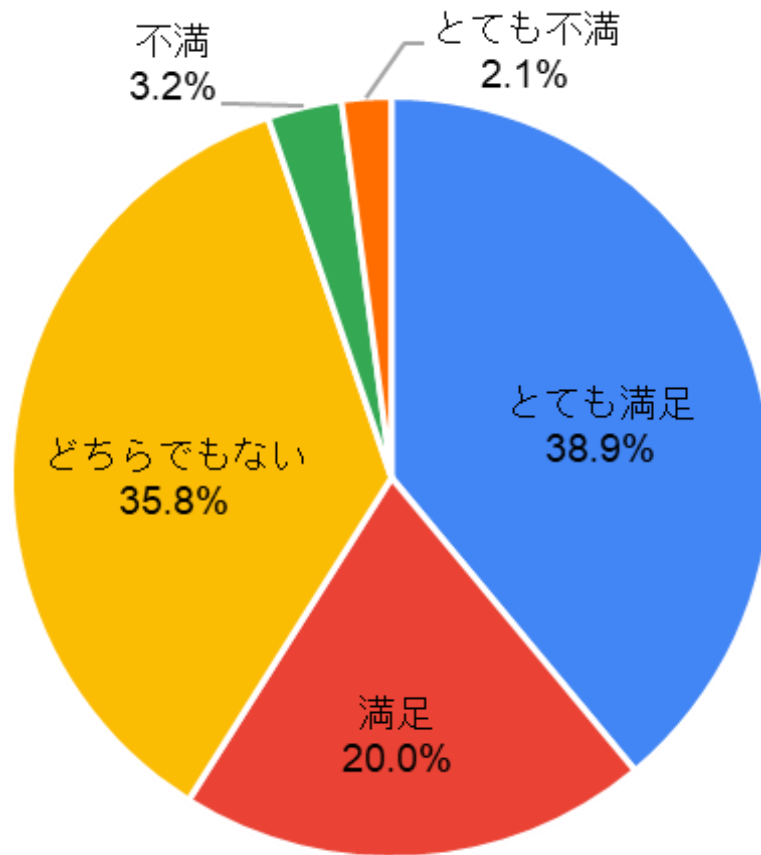
「道の駅 パーク七里御浜(ピネ)」内での購入額

全体としては平均購入額3,791円、中央値は1,000円。

Kiiカード保有者に絞ると、平均購入額5,897円、中央値は2,500円。非保有者よりも購入意欲が強い。



道の駅 パーク七里御浜(ピネ) の満足度



(N=95)

半数以上は満足している。
一方で、どちらでもない、不満が半数近くもある。

～主な声～

- ・トイレがきれい
- ・雨の日に便利
- ・地元の食品や物が多い
- ・店員の感じがいい
- ・みかんが安い
- ・建物が古い
- ・本屋や魚屋が欲しい
- ・暗い